

WHF21 シンポジウム 2005 年夏

今、日本の女性が求めている保健医療とは？ 女性に必要な保健医療とは？

—女性対象外来・女性の健康相談・健康支援の様々な取り組みから考える—

第一部では、東京都において展開されている都立病院と東京医科歯科大学の女性外来についてわかりやすく解説していただきます。

第二部では 女性というものをとらえるジェンダー学の視点から最新の講義をいただき、これからの女性保健医療の方向性をともに考えたいと思います。

各地域の一般市民の女性の方々の健康支援をする保健医療者としていっしょに考える機会をもちませんか？

【シンポジウム】

地域に根ざした女性の健康支援／女性外来をどう活かすか、どう発展させるか？

—女性対象外来・女性の健康相談・健康支援の様々な取り組みから考える—

日時：2005年7月9日（土）

時間：14：30～17：30

場所：東京医科歯科大学 地下臨床講堂2

対象：保健医療関係者および WHF21 会員

【プログラム】

14：30～ 開会の挨拶

これからのウイメンズヘルス研究会 会長

東京医科歯科大学 周産・女性診療科 教授 麻生武志

14：35～17:30

各 25 分 講演 40 分 総合討論 30 分

- ・都立大塚病院女性専用外来での診療現場から（現状と課題）
（都立大塚病院 神経科・女性専用科 松井康絵先生）
- ・都立墨東病院女性外来での診療現場から（現状と課題）
（都立墨東病院 蔵田ゆみ子先生）
- ・東京医科歯科大学女性総合外来診療現場から（現状と課題）
（東京医科歯科大学 尾林 聡先生）
- ・都立府中病院女性外来スタッフご紹介
- ・保健教育セミナー参加者の課題報告（これからのウイメンズヘルス研究会 宮原富士子）
- ・ゲスト講演：ジェンダー研究の立場から（根村 直美先生）
（根村 直美先生 profile:日大経済学部助教授、お茶大大学院博士課程修了、お茶の水女子大学 21 世紀 COE 「ジェンダー研究のフロンティア」客員研究員、哲学・倫理学専攻ジェンダー・セクシュアリティ、生命倫理研究）